

# ほろば シルバー 人材センター

令和5年(2023年)  
春号 No.130



## もくじ

- 飯倉事務局長に聞く(コロナ禍3年の教訓を基に) / ... 2  
理事会だより
- 定時総会案内 / シルバー説明会・桑原征平氏講演 / ... 3  
役員研修会 / 公共業務配分金 事務費から補填
- 「居酒屋礼二」出演 / ドローン講習会 / ..... 4  
体組成測定会 / こども食堂 /  
出張入会説明会 / 南中学見学
- 安全適正通信 / 除草・剪定講習会 / ヘルメット助成 ... 5
- ひろば 事務局体制 / ホタルの夕べ / ..... 6  
平田中学見守り / 甲子園年間シート / 編集後記

朝もやの中

目にしみる 青葉若葉

写真 浅川 八重子 氏 (会員) 提供

silver

## 飯倉事務局長に聞きました コロナ禍3年の教訓を基に 緩やかな回帰を目指して進む



飯沼事務局長

コロナ禍後の社会情勢や物価上昇などの影響に、シルバー人材センターはどのように対応していくのでしょうか。今後の事業運営の進め方や、会員としての取り組み姿勢について、飯倉事務局長に聞きました。

コロナ禍で見えてきたこと

——コロナ禍の社会にようやく薄日が差してきましたが、昨年度を振り返ってください。

マスク着用が自由になり、社会はコロナ以前の状況を取り戻しつつありますが、高齢者団体であるシルバーは、まだまだ注意が必要です。

ところで、市から受託した新型コロナウイルス感染者等への物資配送・買物の支援事業は、センターにとって様々な成果をもたらしました。何といっても一番は、地域貢献です。また、センターの知名度アップ、コロナで新規受注が困難なか、新たな会員さんの就業先の創出も担うことができました。

この事業を通して、先に啓発があつてそれが就業につながるという考え方から、会員さんの就業に取組む姿勢が最大の啓発活動につながるのだという実感も得るこ

全力で取り組むことに専念してもらいました。そして理事会では、迅速に有効な対策、タイムリーに必要な措置が打てるように議案持ち越しをやめ、即決判断をお願いしました。

このように状況の変化に即したスピーディーな運営ができる措置を講じることで、またそれぞれの役割のみに専念する運用を行った結果、実績がコロナ禍でも減少することなく増加させ続けることにつながったと思っております。今後も世間の経済状況やシニアを取り巻く環境などを注視しながら、役割を明確にし、運用のスリム化を進めます。シルバー事業の根幹は、会員拡大と就業拡大、そして、実績数字にこだわる運用です。この2点はごまかさず、真摯に取り組む重要なことだと考えています。

——最後に今年度の目標について。

コロナ支援事業が3月末をもって終了しました。これにより、3年間伸ばしてきた実績は下がると思われます。世間の状況も厳しいので、減少した数字の回復は一足飛びには難しいでしょうが、できる限り早期に元の水準へ、そして増加へとつなげていきたい。そのためにも、会員さんの力が必要で

す。シルバーを取り巻く様々な情報は事務局職員が把握しています。

色々な状況はあるかと思いますが、会員の皆様には事務局職員に協力をお願いします。

世間では、子育て施策が主となり、高齢者施策が表立っていない状況にありますが、一丸となって乗り越えていきたいと思えます。

——ありがとうございました。

(川野正照・土庄潤子)

## 「理事会だより」

● 令和4年度第6回理事会が3月17日に開催されました。

▼ 議案

- 令和5年度事業計画(案)
- 令和5年度当初予算(案)
- 職員給与規程・細則等について

- 情報公開規程の改正について
- 資金調達及び設備投資の見込みについて

▼ 報告事項

- 令和5年度定時総会について
- 諸般の報告
- 正会員の入会について

10月の最低賃金改定後の茨木市の就業に係る配分金の見直しについて、シルバーとしては引き続き粘り強く契約変更を要望していきます。  
(前川明紀)



### 定時総会の案内

令和5年度シルバー人材センターの定時総会を左記の通り、開催します。

定款第20条の規定に基づき、書面による議決権の行使を認めること及び代理権の行使を認めることができることから、昨年と同様の形式で総会を開催します。

コロナ関係の対応が緩和されませんが高齢者へのリスクが解消されるわけではありません。高齢者団体の責務として、感染リスクを上げる集団での密集行為は避け、堅実無事に総会を運営します。

#### ■日時

令和5年6月2日(金)  
午後1時30分開会

#### ■場所

クリエイトセンター  
1F センターホール

#### ■案件

- 一、令和4年度 事業報告及び決算の承認
- 二、令和5年度 事業計画及び予算の報告など

委任状、議決権行使書の提出は、5月24日(水)までとしませんが早目の提出をお願いします。

※状況により場所の変更もあります。

### 普及啓発特別企画

3月4日に春の普及啓発企画「シルバー説明会・会員の生きがい披露落語&桑原征平スペースシャローク」が福祉文化会館にて開催されました。桑原氏とのコラボ企画は2回目で、前回同様、参加者約100名でした。



パワートークの桑原征平氏

#### プロフィール

1944年生まれ、京都市出身。フリーアナ、種智院大学客員教授。関テレ時代は全国・関西を問わず、関テレの看板アナとして、情報・バラエティ番組を中心に活躍。現在は、ABCラジオ「桑原征平粋も甘いも」、「征平・吉弥の土曜も全開!!!」などに出演中、お茶の間を賑わしています。



「月に群雲」を演じる廣澤元一氏

桑原氏のアナウンサー時代の貴重な体験談や、何か一つでも自分のできる仕事をするこの大切さをお話いただきました。聴衆を惹きつける桑原氏の素晴らしいトークに、会場は終始明るい笑いに包まれていました。

また、会員の廣楽亭元笑こと廣澤元一氏によるアマチュア落語も

大好評で、生き生きと落語を披露する姿は、多くの観客に元気を与えました。イベント

終了後のアンケート結果では、将来的に入会を希望される方も含め10名程の入会希望者があり、今後も、魅力的なイベントを行ない、一人でも多くの方がシルバーに興味を持っていただけるよう努めていきます。(丸本 甫)

### 役員研修 シルバー滋賀県連合会と

コロナ禍以降途絶えていた役員研修会が昨年11月9日行われ、島川理事長以下18人が大津市の滋賀県シルバー人材センター連合会を訪れました。研修テーマは「シルバーの発展と理事・監事の役割」。

滋賀県は全国のシルバーでも先進的な施策で知られる模範県。歓迎のあいさつに立たれた中島克也事務局長は「役員的心構えとシルバーの将来について」をテーマに、流通業主体のため民間の比率が高い県内各センターの実状や事例を、時にユーモアを交えてお話しされ、質疑応答も含めて、あつという間の3時間でした。

飯倉事務局長から「茨木SCは女性会員が少ない」「役員の仕事、運営に携わる時の心構えは、働く・学ぶ・参画する」が基本であり、できない理由は考えず、まずやってみる」との発言が印象的で、理事として今後の課題となる研修でした。(井川恵子)

### 公共業務 配分金 事務費から補填

昨年10月1日の最低賃金改定により、大阪府では31円増の1023円に引き上げられました。ところが、公共業務の発注者である茨木市とは4月からの1年契約のため10月時点では改正賃金は適用されず、半年後の令和5年4月まで据え置かれました。結果、請負契約の公共業務従事会員は半年間、最低賃金を下回ることに。法的には問題ないとのことですが、昨今の激しい物価の高騰で、大きな打撃を受ける会員に配慮した事務局が動きました。「会員の生活を守る」との観点に立ち、該当する公共の事務費から差額分を補填、昨年10月度から即実行に移したので、上層機関の許可も取り、他のセンターに例を見ない思い切った措置でした。

今回の特例措置について、事務局は「いつまでも続けられるものではないので、市に対しては引き続き、年度途中で契約更改ができるよう、粘り強く働きかけていきたい」と言います。

そこで、会員として守らなければならぬのは、苦情や問題を引き起こすことがないよう、自覚と責任を持って、任務を全うすること。それが、シルバーとしての仕事を守るにつながります。(会員理事一同)

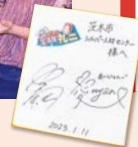
理事長

「居酒屋礼二」にTV出演!

J:COMの「ジモトに乾杯!」というテレビ番組に理事長が出演され、3月18日(土)~24日(金)が前編、3月25日(土)~31日(金)が後編として放送されました。



左から礼二さん、中野さん、理事長、福本さん



内容は、兄弟漫才コンビ「中川家」の中川礼二さんがMC、元NMB48の福本愛菜さんがアシスタントの番組で、街を愛する地元の人たちが集う居酒屋を舞台に、大将に扮した礼二さんが、訪れた人物の魅力や、その街への愛を引き出していく地域密着トークバラエティーです。

今回は、茨木市と京都市が選ばれ、茨木市からは当センター理事長と茨木商工会議所の中野拓二様の2人が出演されました。

MCの礼二さんの巧みな進行で、シルバー人材センターのクローズアップをはじめ、理事長の生い立ちや趣味などの話で盛り上がりました。

ドローン講習会開催!

2月13日(月)、当センター大会議室にて、スカイファイトスタジオ梅田店の長内店長様をお招きし、ドローン講習会が開催されました。昨年11月に続く研修会でしたが会員のドローンへの関心も高く、募集開始2日で定員オーバーとなりました。

今回は、その仕組みを座学で学んだ後、ミニドローンを飛ばしていただき終了となりました。参加された方は楽しくドローンを学び、



ドローンの仕組みを学習



練習風景

操作体験していただき、満足されていきました。

また、当センターでは、月1回ドローンクラブとして、会員さんが楽しく和気あいあいとドローンを飛ばし、操縦技術を磨いています。ご興味のある方はぜひご参加ください。

(事務局)

（茨木市立南中学校生徒）  
地域学習で当センターを見学!

1月25日、茨木市立南中学校の1年生5人が地域学習として当センターを見学に来られました。

シルバー人材センターについての説明に皆さん熱心に耳を傾けていました。

コロナ配達の物資梱包場では会員が仕事をしている現場を実際に見学して、作業と一緒に、就業体験してもらいました。

中学生の地域学習の場でしたが、お孫さんのような年齢の子もたちとの交流で、会員さんも若返ったかのようになり、普及の力がみなぎっていました。



作業実施体験

校区ごとの出張入会説明会

昨年度に引き続き、各校区（31校区）で行う出張入会説明会が10月~2月までの期間で開催されました。

(地区別)

説明会の参加者及入会者数

校区	参加者	入会者
中央校区	20人	5人
北地区	14人	2人
南地区	12人	2人
東地区	16人	3人
西地区	18人	10人
合計	80人	22人

結果は、全地区合わせて80人の参加で22人の入会となりました。

体組成測定会開催!

センター大会議室

[1月18日・27日  
2月7日]

参加者 33人



測定の様子

初めての試みとして体組成測定会がおこなわれました。裸足で測定器具に乗るだけで体脂肪、筋肉量、水分量、体バランスの自分の現状が分かります。

プリントされた測定値を見ながら保健師さんから標準値をもとに今後のボディメンテのアドバイスをいただきました。これからの健康管理にとっても役立つ測定会と好評でした。

(橋本由紀子)

子ども食堂だより

こども食堂は発足から5年が経過しました。これを機に、今後の運営に生かしていきたいとの目的で利用者の保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

結果、いつも助かっていますとの声や優しい味、親子で楽しく食事ができると、好評でした。こども食堂の役割の一部を果たせているかと安心しました。

また、学童保育のような場所の提供、イベント、パーティーなどをして欲しいとの要望がありました。

コロナ禍以前の生活に戻った時には検討したいと思いました。

(スタッフ一同)



事故発生状況

(令和4年4月~令和5年1月)

発生日	事故の種類	事故発生状況
5/8	傷害	食器洗浄時、棚の食器かごを降ろそうとしてとなりのかごに引っかかり頭上に落ち切り傷
5/21	傷害	就業先に赴く途上、歩道の段差に自転車のハンドルを取られ転倒、右手首骨折
6/20	傷害	河川敷清掃中、ゴミを拾う際足を滑らせ転倒、右手首骨折
7/14	賠償	チップソーで除草作業中、石が飛び走行中の車の窓ガラス破損
7/28	賠償	同上
7/29	傷害	学校受付業務従事中、門扉を閉める際転倒、手首骨折
8/19	傷害	除草作業で手袋をはめる際にムカデが入っており刺された
10/3	賠償	剪定作業中瓦の上に枝を落とし損傷
10/5	傷害	学校受付業務で児童の下校対応中バランスを崩し転倒、手首骨折
10/5	賠償	網戸を取り外す際、はずれ防止の部品に気付かずはずしたので部品を破損
11/15	傷害	家事援助の業務時、マンションの自動ドアに入ったところで転倒、膝下骨折
11/18	賠償	剪定作業中、脚立が雨樋に接触、破損
12/17	傷害	家事援助業務の帰宅途上自転車で転倒、大腿骨骨折
12/20	賠償	剪定作業中はしごをかけ塀に足をかけた時表札を落下させた
1/15	傷害	交通専従業務に向かう途上足を滑らせ転倒、足首骨折
1/24	賠償	剪定作業中において依頼内容と異なる木を伐採
1/30	傷害	作業現場にて階段で転倒、手首骨折

安全適正就業通信

- **事故ゼロを目指して**  
事故『ゼロ』を目指し、会員の安全就業と就業途上での交通事故防止の徹底を期すとともに、会員の健康管理意識の高揚を図ります。
- **事故原因の究明、対策等**  
安全はすべてに優先するという志の下、重大な傷害・賠償事故が発生した場合、緊急委員会等を開催し、事故の原因を分析、再発防止策を講じます。
- **安全就業への取り組み**  
7月の安全就業強化月間以外にも、
- **安全・適正就業委員会の開催**  
(伊澤正喜)
- **安全就業基準の徹底**  
安全・適正就業委員、安全就業推進員及び事務局職員が安全・ハトロールを随時実施します。
- **就業現場のハトロールは、安全就業基準に基づき、点検・指導を行います。**
- **適正就業の徹底**  
契約内容に基づき、業務の適正化を推進し、より良い就業環境の実現をします。
- **会員の健康管理**  
自らの健康は自ら守ります。

剪定・除草安全講習会を受講して

3月9日に剪定、3月20日に除草の講習会を高槻SC職員の池田氏、前島氏を講師に招いて開催しました。

午前中は座学で、ルール、就業マナー、モラル等を学び、「ピヤリハット」はグループに分かれてディスカッション。最後に代表の会員が経験を踏まえながら発表し、今後の就業に役立つ発表会となりました。

午後は実技で、剪定は数種類の枝を使用し、樹形を考えながら剪定する方法等教えてもらい、特に松の剪定は皆さん熱心に聞いておられ、好評でした。

除草は、現在当センターが使用している飛散が少ない二枚刃の草刈機の安全性を見える形で教えてもらい、シルバーは安全第一で就業することを再確認しました。

私も両日とも受講し、とても勉強になりました。今後も会員の皆さんが安全第一で、事故なく元気で就業されることを願います。

(大垣真知子)



剪定・除草安全講習会風景

ヘルメット費用 一部助成

自転車乗るならヘルメット!

道路交通法の一部改正により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化されました。

当センターでは、就業先への移動は主に自転車推奨していることもあり、自転車事故から会員の安全を守りたいと考えています。そこで、当センター指定のヘルメットの購入に費用の一部を助成させていただきます。今後も助成を継続していく予定です。

交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることが重要です。もしもの事故に備えヘルメットを着用しましょう。

☆努力義務とは……  
罰則はありません  
が、着用に努めなければなりません。



☆自転車での死亡事故は、ヘルメットを着用していない場合、着用している人の2.6倍です。(事務局)

受診しよう健康診断

早期発見が第一、簡単な検査で分かることもあります。1年に1回は自分の健康を見直しましょう。

(伊澤正喜)

皆さんの仲間  
(会員数)

3月31日現在	
男	1,054人
女	532人
計	1,586人

○△□に入る数字は  
なんでしょう。

○×○×○=27

○×△=24

△÷□=4

それぞれひと桁の  
数字が入ります。

答えはこのページに

第35回

クイズ?



たんば絵手紙コンクール(兵庫県)に入賞した作品です。  
会員 梅林 孝美



絵手紙

ひろば



シニアネットワーク4団体の事業として、休館日を除く1月18日から26日の8日間と2月14日から22日の8日間に、シニアプラザの会議室にて、平田中学校生徒の見守り業務として各団体の高齢者が参画しました。

平田中学校生徒見守り事業

昨年度好評だったホタルの夕べを、今年度も開催いたします。期間は6月8日(木)から6月11日(日)の4日間、17時~20時まで、当センター2階会議室で、飼育経験のある会員さんの説明を聞きながら、幻想的な光を鑑賞いただけるイベントとなっております。ホタルの光に包まれながら、癒されてみませんか?

ホタルの夕べ開催



事務局だより

事務局体制(令和5年4月1日)

事務局長 <b>飯倉 一史</b> 事務局統括	事務局次長 <b>大垣 真知子</b> 事務局統括補佐・センター運営
常務理事 <b>宮野 正</b> センター運営	

大垣 真知子	除草・剪定業務
伊澤 正喜	公共業務
丸本 宙	派遣業務
山口 敦	就業コーディネーター・民間企業
田中 美弥子	福祉家事業務
宮崎 俊夫	業務全般補助

総務担当	松本 一美	経理・総務・庶務の付帯業務
	小西 昭	経理・総務・庶務の付帯業務

介護事業所	いきいき支えあいセンター	
	岡村 美紀子	管理者兼訪問事業責任者
	平松 都	訪問事業責任者

※センターの運営上、担当が変更になる場合があります。

事業内容は、テスト期間中にシニアプラザの会議室を自習ができる学習の場として提供し、来館した生徒の見守りや館内設備等の案内を行うものです。期間中の参加延人数は46名でした。



今年度の新たな取り組みとして、甲子園で開催される阪神タイガース公式戦のペアチケットを抽選で進呈しています。シートは3塁側内野指定席ですので、タイガースファン以外の方も観戦しやすい席です。ペアチケットなので、お友達などをお誘いあわせのうえ、観戦を楽しんでいただくとともに、未入会の方々にシルバーの魅力を伝えていただき会員獲得につなげていただきますようお願いいたします。

甲子園年間シートで啓発

編集後記

広報誌作成に携わり、約一年になりました。「楽しい広報誌」作りを目指していましたが現実には厳しく、「誤字」という大きなミスをしてしまい、反省の日々が続きました。これが一年の振り返りで一番大きなできごとです。これまで会話を交したことのなかった会員さんと話せたり、知らないことを教えてもらえたことが、大きな喜びとなりました。

8月後半の日帰りと、11月から12月に一泊研修バス旅行が、今年には予定されているそうです。今後ミスを繰り返さないように気を配り多くの人に読んでいただける広報誌作りに努めたいと思います。(井川恵子)